

新年のご挨拶



大阪府鍼灸師会

2023 明けましておめでとうございます。
1月4日新年互礼会及び本会設立60周年記念式典を無事終える事ができました。

記念式典では50年以上在籍の先生方の表彰を行いました。59年在籍の先生が2名おられ改めて諸先輩方の活躍に敬意を表します。

新型コロナウイルス感染が猛威を振るった丸二年、経済の滞りに加えて円安が日本経済を窮地に追い込んでいます。当然我々の業界も例外ではありません。

鍼灸師に対する助成の要望書を大阪府議会自民党 鍼灸振興議員連盟に提出しましたが大阪府における赤字財政ではどうしようもないとの事。大阪府鍼灸師連盟を通じて再度要望書の提出をしております。

日本における鍼灸師を取り巻く環境改善のため、日本鍼灸師会と共に政府、厚労省への働きかけを継続し、鍼灸師の待遇改善を図っております。

本年10月21・22日 公益社団法人 日本鍼灸師会 全国大会を近畿ブロックで開催する事になりました。全国大会をブロックで開催する初めての大会です。地方大会ではなく大阪の地、りんくうタウンのスターゲートホテル関西エアポートで開催し、近畿2府5県（大阪・京都・滋賀・福井・奈良・兵庫・和歌山）が協力し全力で運営致しておりますので会員の皆様のご参加を理事一同心よりお待ち申し上げます。

本年も会員の皆様に寄り添える鍼灸師会をモットーにより一層の活動をさせて頂きますのでご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げ、皆様のご健康、ご多幸を心より祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年1月吉日
公益社団法人 大阪府鍼灸師会
会長 得本 誠

令和5年1月4日 大阪府鍼灸師会設立60周年記念・新年互例会が行われました



Contents

- F-1**
- 新年のご挨拶
 - 大阪府鍼灸師会設立60周年記念・新年互例会

- F-2**
- 要穴カルタ大会開催レポート
 - 要穴カルタ大会感想文
 - 高槻クロスカントリー大会・スポーツ鍼灸ボランティア活動募集

- F-3**
- 霊枢勉強会

- F-4**
- 令和4年度 2月・3月 研修事業のご案内
 - 研修会案内
 - 行事予定

要穴カルタ大会開催レポート

青年委員長 清藤直人 (高槻地域)



朝早くから雨の降りしきるなか、令和4年11月23日水曜日、森ノ宮医療学園専門学校アネックス校舎で、「2022年度要穴カルタ大会」が開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大により様々なイベントの中止が相次ぎ、本大会も3年ぶりの開催となりましたが、何よりも約2ヶ月前から準備を始め、会場から段取りに至るまで、尽力していただいた公益社団法人東洋療法学校協会 清水尚道会長、森ノ宮医療学園専門学校の松下美穂先生およびスタッフの先生方、この場をお借りして感謝申し上げます、誠にありがとうございました。

私がAM9:15に一番乗りかと意気揚々と会場に入ると、すでに浅井監事が試合前の「あしたのジョー」のように椅子に座り気合い十分、待っておられました。

AM10:00に打ち合わせが始まり、その場に日本鍼灸師会の新名恵美 組織委員長が

来てくださり、大変嬉しく思いました。

AM11:00いよいよカルタ大会が始まります。2大会連続、清藤が司会進行を務めました。富永副会長が主催挨拶を務められ、続いて共催である公益社団法人 東洋療法学校協会広報部部長であり新宿医療専門学校の永野修校長よりご挨拶いただきました。

2019年度優勝校の森ノ宮医療学園専門学校からトロフィーの返還が終わり、個人戦の第1試合が始まります。出場校は森ノ宮医療学園、明治東洋医学院、仏眼鍼灸治療、大阪行岡医療、東洋医療、そして関東からは湘南医療福祉専門学校1校だけの、さらに1名のみで参加されました。なんと決勝は、明治東洋と湘南医療となり、個人戦優勝は明治東洋の平井英美さん、準優勝に湘南医療の花田光由くんとなり、湘南から1名で参加の花田くんに圧倒されました。

昼食後、団体戦が始まり、森ノ宮医療学園、明治東洋医学院、そして湘南・仏眼・森ノ宮の混合チームとして1チーム2~3人で対戦していきます。結果、優勝は1年ぶり明治東洋医学院専門学校が、個人戦、団体戦と2冠達成しました。

5時間にも及ぶ長丁場の中、勤労感謝の日に、3年ぶり要穴カルタ大会は無事閉会されました。日々働く勤労に感謝する日に、さぞかし日々心労を抱えているにもかかわらず、参加して下さった理事・監事の先生、心から感謝いたします、お疲れ様でした。来年は近ブロ全国大会でカルタ大会が日本全国の学校が集まって行われること願っております。

(大阪府鍼灸師会からの参加者 富永礼子・浜田暁・若杉昌司・丹波徹二・荒木善行・浅井和俊・喜多伸治・三宅なつえ・廣橋久美子・清藤直人)

要穴カルタ大会感想文

明治東洋医学院専門学校 鍼灸学科2年 平井 英美

カルタ大会から一夜明けて、まさかの優勝という結果が信じられない中で感想を書いております。

私は昨年のコロナ禍に明治東洋医学院専門学校に入学しました。

1年生の前期の授業はリモートが多く、文化祭などのイベントも軒並み中止でした。なので、クラスで何かを一緒に行うという機会が少なく、せっかく3年間を共にする仲間なのに寂しいなあという思いをずっと抱えていました。

そんな時に監督から要穴カルタ大会への出場を提案され「出たいです!」と即答しました。

そこからメンバー集めが始まり、最初は2人だったメンバーが最終的には1~3年生の10名となり、放課後の練習会が始まりました。みんな国試対策や仕事もあるので、週1回の会合と自主練の積み重ねでしたが、個々に知恵を絞った練習法の考案をしたり、意見交換をする時間が私にとっては遅れてきた学生生活の至福の時でした。カルタ大会までの日々を誰よりも楽しんで過ごしていたという自信があります。笑

そして、それが驚きの結果にも繋がって、みんなで一緒に練習してきたことを思い出し、胸が熱くなりました。要穴カルタ大会を通して、鍼灸師を目指す上で大切な要穴をみんなで楽しんで学べたことは、私にとって一生の宝物になりました。

改めて、監督はじめ支えてくださった先生方や学校関係者の方々、カルタ同好会のメンバーへは感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりましたが、まだまだコロナについては色々な意見がある中で、ルール変更やアルコール消毒等の対策を考えて開催して下さった関係者の皆様、会場を貸して下さった森ノ宮医療学園専門学校の皆様、出場メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

高槻クロスカントリー大会・ スポーツ鍼灸ボランティア活動募集

sp89 委員・会員・準会員・鍼灸学生各位

時節柄中止となっております「高槻クロスカントリー大会」が開催される見込みとなり、高槻クロスカントリー大会実行委員会より派遣の依頼を受けました。

開催地である高槻地域の先生方およびスポーツ鍼灸プロジェクト委員会(sp89)からも参加を予定しておりますが、スポーツ鍼灸に興味のある会員・準会員・鍼灸学生におかれましては、別途ご案内をさせていただいておりますので、この申し込みは不要です。

大会の研修会および開催日の詳細は追って連絡します。まずは下記の申し込み Google フォームより参加の表明をよろしく願います。

高槻クロスカントリー大会・実技研修会・事前研修会

2023年2月26日(日) 10:00~15:00

開催場所:大阪府鍼灸師会会館

高槻クロスカントリー大会開催日

2023年3月12日(日)・雨天決行

開催場所:高槻荻谷総合公園

種目受付:8:00~

開会式:9:30~

申し込み Google フォーム・QRコード

募集期限:2023年2月18日(出)まで





霊枢勉強会報告

講師：日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

- 日 時：令和4年(2022年) 12月11日(日) 第21回
- 会 場：大阪府鍼灸師会 会館3階
- 出席者：会員25名(内Web16名) 一般17名(内Web6名) 学生15名(内Web15名)

*12月度は会場20名、ネット配信での受講が37名でした。

○『黄帝内經靈樞』經脈第十・第十一章

○01 三焦(さんしょう)、手の少陽(しょうよう)の脈は、

○02 小指(しょうし)の次指(じし)の端(はし)に起こり、

○03 上(のぼ)りて兩指(りょうし)の間(かん)に出て、

○04 手表(しゅひょう)の腕(わん)を循(めぐ)り、

(解説)
*手表というのは、手の陽に焼けやすい方のこと。(**手背である)

*「腕(わん)」は腕のこと。

○05 臂外(ひがい)の兩骨(りょうこつ)の間(かん)に出(い)づ。

(解説)
*「臂外(ひがい)の兩骨(りょうこつ)」：臂(ひ)は前腕のこと。臂外の兩骨は、背側の二つの骨のことであるが、二つの骨というのがどこになるのかというところがある。『銅人』という書物によると「支溝」というつぼの所との注解がある。この部分の注解については、部位の解析をしているというよりも、つぼの名前をならべて流注の説明の代わりにしていると言うのが近い。
**当日配布資料36ページよりこの文章の注解を抜粋
『太素』注云、「兩骨間、支溝所在焉。」

滑壽曰、「循外關支溝會宗三陽絡四瀆。」【**滑壽(かつじゅ)曰(いわ)く、「外關(がいかん)、支溝(しこう)。會宗(えそう)、三陽絡(さんようらく)、四瀆(しとく)を循(めぐ)る】

○06 上(のぼ)りて肘(ひじ)を貫(つらぬ)き、

○07 臑(じゅ)の外(そと)を循(めぐ)り、
**「臑(じゅ)」は上腕のこと。

○08 肩(かた)に上(のぼ)りて足(あし)の少陽(しょうよう)の後(しりえ)に交わり出(い)づ。

(解説)
*ここで問題になるのは「交わる」という文章である。他の經脈との関

係があるということだろうか。では他の經脈との関係というのは臨床的にどういう意味があるのだろうか。私たちは二つの經脈あるいは三つの經脈に関係があるという時、そこにどんな臨床的な内容があるのかを考える。それは当たり前のことだ。

○09 缺盆(けつぼん)に入(い)りて、10 臑中(だんちゅう)に布(し)き、

(解説)
*「布(し)き」というのは、そこに、流れていくということである。

○11 散(さん)じて心包(しんぼう)を落(まと)い、

(解説)
*「落(まと)う」は「絡(まと)う」と同じである。『脈經(みやくきょう)』では「落」の字が「絡」の字にしてある。字がまちがっているわけではない。

○12 膈(かく)を下(くだ)り、13 循(めぐ)りて三焦(さんしょう)に屬(ぞく)す。

○14 其(そ)の支(し)なる者(もの)は、15 臑中(だんちゅう)從(よ)り、16 上(のぼ)りて缺盆(けつぼん)に出(い)て、17 項(こう)に上(のぼ)り、18 耳後(じご)に繫(か)け、19 直(ちよく)に上(のぼ)りて耳(みみ)の上角(じょうかく)を出(い)て、20 以(もつ)て屈(くつ)して、21 頰(ほお)に下(くだ)り、22 頤(せつ)に至(いた)る。

(解説)
*こんな複雑な流注が一体どのようなにして成り立ったのだろう。馬王堆(まおうたい)から出土された、この篇より古いものでは、もっとアバウトに書いてあって、これほど複雑なものではない。

わたしが一つ考えたのは、このようなことである。もともと流注というものは、もっとアバウトなものであったろう。『甲乙經(こういつきょう)』という本などに記述があるように、つぼの位置が生じたことによって、その位置を取りこんで「經脈篇(けいみやくへん)」のような精緻なものが出来上がったという可能性があるのではないか。当時「經脈篇」の中に、つぼの位置の表現が組み込まれた結果であろうと思う。つぼとつぼを結びつけて流注(るちゅう)が出来ているのでは

なくて、經脈の流注をつぼの位置にからめていくだけで、このように精緻に分かれたのではないか、そんなふうになっている。そうでなければ、17節から19節の記述のような複雑な流注はわかるわけがないと思う。ここで、くれぐれも申しあげておくが、つぼとつぼを突き合わせて經脈が出来たということでは無く、經脈が先ずあり、その上で、つぼの体系も別にあって、それが結び合う過程でこの篇が出来た、そんなことがあるのでは無いかと思う。

○23 其(そ)の支(し)なる者(もの)は、24 耳後(じご)從(よ)り、25 耳中(じちゅう)に入(い)り、26 出(で)て耳前(じぜん)に走り、27 客主人(きゃくしゅじん)の前(まえ)を過ぎて、28 頰(ほお)に交わりて、29 目の銳眥(えいし)に至(いた)る。

(解説)
*「目の銳眥(えいし)」は目の外側(*目じり)のこと。

○30 是(こ)れ動(どう)ずれば、

○31 則(すなわ)ち病(やまい)、耳聾(じろう)して渾渾焯焯(こんこんとんとん)。

(解説)
*耳聾(じろう)は耳が聴こえなくなること。
*渾渾焯焯(こんこんとんとん)は、耳が聴こえなくなった様子を形容した表現である。この表現は『孫子』の中にも出て来るようである。

*「渾渾(こんこん)」は水のわき出る様「みだれにざる様」つまり「ものが明らかでない様」、「焯焯(とんとん)」は「暗い様」

○32 噎(のど)腫(は)れ喉痺(こうひ)す。

(解説)
*噎(のど)も喉(のど)も、何れも、のどのことである。

○33 是(こ)れ氣(き)の生(しょう)ずる所(ところ)の病(やまい)を主(つかさど)る者(もの)は、

○34 汗(あせ)出(い)で、

○35 目(め)の銳眥(えいし)痛(いた)み、

○36 頰(ほお)痛み、

○37 耳後(じご)、肩臑(けんじゅ)、肘臂(ちゅうひ)の外(み)、皆(み)な痛み、38 小指(しょうし)の次指(じし)、用(もち)いられず。

(解説)
*34節の「汗(あせ)出(い)で」以外、35節から38節までは流注でも解釈できる。

○39 此(こ)の諸病(しよびょう)を爲(な)す。40 盛(さか)んなれば則(すなわ)ち之(これ)を寫(しゃ)し、41 虚(きょ)せば則(すなわ)ち之(これ)を補(おぎな)い、42 熱(ねつ)すれば則(すなわ)ち之(これ)を疾(すみ)やかにし、43 寒(かん)すれば則(すなわ)ち之(これ)を留(とど)め、44 陷下(かんげ)すれば則(すなわ)ち之(これ)に灸(きゅう)す。45 盛(さか)んならば虚(きょ)ならざれば、46 經(けい)を以(もつ)て之(これ)を取(と)る。47 盛(さか)んなる者は、48 人迎(じんげい)大(だい)なること寸口(すんこう)に一倍(いちばい)す。49 虚(きょ)する者(もの)は、50 人迎(じんげい)、反(かえ)って寸口(すんこう)より小(しょう)なり。

*『靈樞』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜、午前10時から12時まで大阪府鍼灸師会館3階です。COVID-19感染予防対策の下、勉強会のご案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。2月12日(日)は「經脈篇(その四)」の予定です。

(靈樞のテキストは現在2冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受けにてお問い合わせください)
(靈樞勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)
(靈樞勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

(公社) 大阪府鍼灸師会 主催令和4年度 2月・3月研修事業のご案内

令和4年度2月・3月度研修事業のお知らせです。下記の要綱をご覧いただき、会員の先生方におかれましては、万障繰り合わせの上、ご参加お待ちしております。詳細は、研修会案内をご参照下さい。

口座名義：公益社団法人 大阪府鍼灸師会
(↓他金融機関からの振込用口座番号)
〇九九(ゼロキウキウ)店(099) 当座 0145677
口座名義：公益社団法人 大阪府鍼灸師会

【日時】 令和5年2月12日(日) 10:00~12:00 霊枢勉強会(ハイブリッド開催)
13:30~16:45 学術講習会(ハイブリッド開催)

【演題】
・霊枢勉強会(ハイブリッド開催・アーカイブあり) 第21回「経脈篇第十」
講師：篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表
・学術講習会(ハイブリッド開催・アーカイブあり)
①「耳鍼の基礎と神経学的アプローチ」(実技供覧)
講師：原 浩之 先生(はら鍼灸院 院長)
②「ほんとは凄い! 学校で習う管鍼法、使っていますか管鍼」
~臨床に活かす杉山真伝流の鍼術「管術の妙」~(実技供覧)
講師：尾河 由清 先生(大阪医専 専任教員)

【日時】 令和5年3月12日(日) 10:00~12:00 霊枢勉強会(ハイブリッド開催)

【演題】
・霊枢勉強会(ハイブリッド開催・アーカイブあり) 第22回「経脈篇第十」
講師：篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

【受講料】
会 員：1,000円(日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)
会員外：2,000円 学生：無料
※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい
【参加申し込み方法】 先着順(会館参加 20名 WEB参加 300名)
QRコード(Google フォーム)・当会ホームページから参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。
※お申込み・お振込み締切：2月度 2月 9日(木) ※お申込み開始済
3月度 3月 9日(木) ※お申込み開始は2月15日より

※手数料は参加者負担となります。ご了承ください。
※申し込みは、事前参加申し込みと、入金確認(WEB受講)で完了となります。
WEB参加の方は、参加申し込みと受講料お支払い後、運営からメールにて当日の「ZOOM ミーティング URL」と「講義資料」、「Web セミナー利用手引き書」をお送りいたします。手続きに多少のお時間を頂きますので早めのご入金にご協力ください。
資料につきましては必要に応じて各自印刷を事前に行ってくださいようお願いいたします。

【取得単位】(公社)大阪府鍼灸師会生涯研修(2単位)
(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座(2単位)
※WEBセミナー会場へのセキュリティ強化と入室をスムーズに行うため、申し込み時の氏名と振り込み時の氏名およびZOOM入室時氏名を統一して本名にてご登録いただきますようお願い致します。
※受講時ビデオ on をもって単位認定いたします
※取得単位は、講習会終了後に当会にて登録作業を行います
※単位認定は講習前後15分以上の遅刻・退室により付与できません。また受講状況により付与できない場合がございますのでご了承ください
【WEBセミナー受講上の諸注意】 詳細は「WEB 聴講利用手引き書」をご覧ください
※撮影ならびに録画・録音はお断りいたします。
※当日使用する ZOOM ミーティングのソフトウェアを yourself が使用するデバイス(PC・タブレット・スマートフォン)に事前インストールをお願いいたします。また、最新版への更新をお済ませください。
※当日は参加者確認に時間を要するため、準備が出来た方は早めに受付を行って頂きますようご協力をお願いいたします。20分前から入室ができるよう準備いたします。
※最後に質疑応答の時間を設けますが、講義中もチャットにて随時質問をお受けいたしますので、主催者の指示に従って頂きますようお願い申し上げます。
※講習時はビデオ on、マイク off(ミュート)にご協力ください。

ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで
連絡先：TEL 06-6351-4803 FAX 06-6351-4855
E-MAIL：study@osaka-hari9.jp(研修委員会 荒木)

【振込口座】 受講料は、下記の口座へ、お振り込みにてお願いいたします。
ゆうちょ銀行 00950-3-145677

研修会案内

開催日	令和5年2月12日(日)		令和5年3月12日(日)
時間	10:00~12:00	13時受付 ①13:30~15:00 ②15:15~16:45	10:00~12:00
場所	大阪府鍼灸師会館3F または WEB配信(ZOOMミーティング)		
研修会名	2月度 霊枢勉強会	①「耳鍼の基礎と神経学的アプローチ」(実技供覧) ②「ほんとは凄い! 学校で習う管鍼法、使っていますか管鍼」~臨床に活かす杉山真伝流の鍼術「管術の妙」~(実技供覧)	3月度 霊枢勉強会
内容 講師名	「霊枢」経脈篇第十 日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生	①はら鍼灸院 院長 原浩之先生 ②大阪医専 専任教員 尾河由清先生	「霊枢」経脈篇第十 日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生
午前午後通しの聴講料	本会会員・準会員(卒後)・提携会員 ¥1,000 会員外 ¥2,000 学生 WEB 限定無料		
申込	掲載のQRコードまたは、大鍼会 HP よりお申し込みください。2月度研修会は1月10日より、3月度研修会については2月15日より受付を開始いたします。大鍼会ホームページやいかなごう(メルマガ)でもご案内いたします。※会場は先着20名、WEB受講は先着300名		
	①耳針療法はフランス医師のポール・ノジェ先生により研究、体系化された療法で耳介を利用した神経学的な反射に基づいた治療です。日本では瘦身に利用されていることでよく知られていますが、本来、耳針は欧州諸国や米国において医療として臨床応用されており、今回は、耳針の理論、適応症、ポイント探索の方法や治療法について腰や肩などの痛みに対するデモも交えながらお話しさせていただきます。②杉山和一検校が確立した杉山流(杉山真伝流)は、日本独自のスタイルである「管鍼法」として現在に受け継がれ、鍼灸養成学校でも鍼実技の基本として教えられています。しかし、学校では、国家試験のために術式名だけを教えるに留まっていることが多く、本来の術式の目的や技術を伝えきれていないと思われま。特に鍼管を使った管術は、効果が高い術式にも関わらず、その内容が十分に伝えられていない現状です。今回は、学校で習う基本17手技の中の5つの管術から、最もベーシックな管術を中心に、その原点となっている杉山流の術式から考察し(目的や方法)、みなさんと研鑽して、日々の鍼灸臨床にフィードバックして頂けるよう進めていきたいと思います。		

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表(1月13日現在)

1. 令和5年2月予定		
日時	主要行事	場所
6(月)	会費引き落とし日	
6(月) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
12(日) 10:00~	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信
12(日) 13:30~	第5回学術講習会	会館3階+WEB配信
26(日) 10:00~	高槻クロスカントリー 事前研修会	会館3階+WEB配信

2. 令和5年3月予定		
日時	主要行事	場所
6(月) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
12(日) 10:00~	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信
12(日) 9:30~	高槻クロスカントリー大会	高槻萩谷総合公園
16(木) 19:30~	第7回正副会長会議	会館2階
19(日) 10:00~	第7回理事会	会館4階
19(日) 15:30~	第3回地域代表者連絡会	会館3階

3. 令和5年4月予定		
日時	主要行事	場所
6(木) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
9(日) 10:00~	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信
13(木) 19:30~	第1回正副会長会議	会館2階
15(土) 18:00~	監査会	会館2階
16(日) 10:00~	第1回理事会	会館4階
16(日) 15:30~	第1回地域代表者連絡会	会館3階

研修会 Webより申込み




2月度

3月度
(2/15~)

Web 配信利用手引き書





いっしょに、いこう!
大阪・関西万博